



# 自民党シンクタンク構想（案）

－日本の政策構想力の強化に向けて－

---

2005.7.22

自民党党改革実行本部

シンクタンク準備室



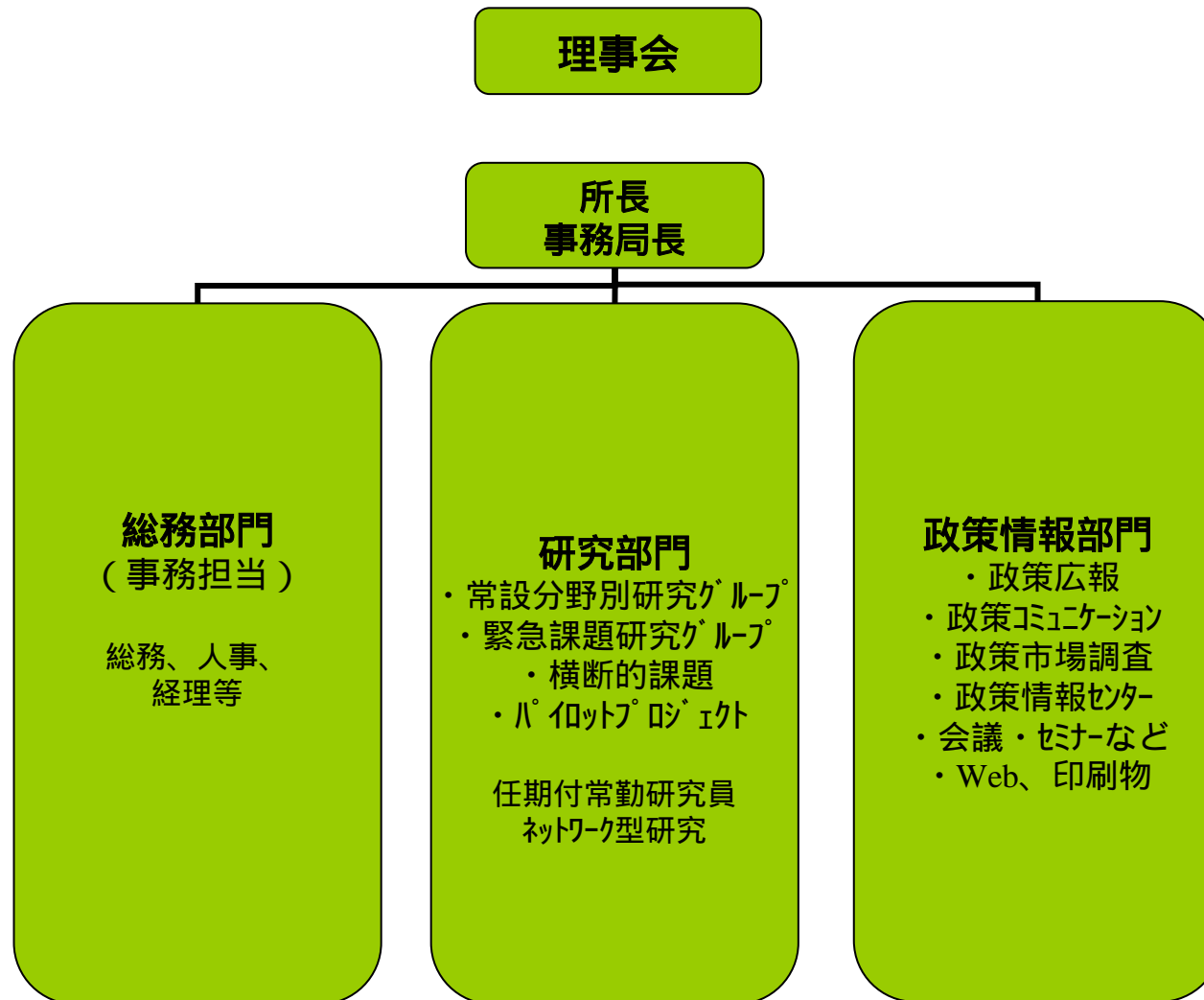
# 設立趣旨

---

- 趣旨

- 基本哲学・価値観

# 組織図





# 研究活動

---

## ○ ネットワーク的研究人材と常勤研究員(任期付)の組み合わせによる政策研究

「タイムリーで柔軟性がある研究」と「実証的な研究」の組み合わせ  
多様な研究手法

## ○ 様々な課題設定と手法(政策評価、情報の蓄積)

- ・常設分野別研究グループ
- ・緊急課題研究グループ
- ・非常設・時宜にかなう課題の研究グループ
- ・横断的課題グループ
- ・パイロットプロジェクト
- ・基礎的情報作成グループ



## 政策情報活動

---

- **活動成果を分かり易く普及、広報、情報提供**
  - ・ 対象：国民、有権者、自民党関係者、メディア
  - ・ 手法：記者会見、セミナー・会議、シンポ、出版、政策勉強会等。
  - ・ 英和文での発信。
- **情報センター**
  - ・ 研究活動の成果の蓄積。
  - ・ 様々な政策情報のデータベース化。
  - ・ 有権者や党员等からの意見、情報の収集。政策の市場調査。
  - ・ 英和文で発信。マルチメディア。



# 方向性と運営の論点

---

## ○ 方向性

- ・ 党のネットワークや資源、人材の活用。
- ・ 草の根からの情報を政策立案に活用。
- ・ 党と有権者、国民とを結びつける。

21世型シンクタンクの構築

参加型政党の構築。党の強化に貢献。

## ○ 運営の論点

- ・ 公開性、透明性、説明責任。
- ・ 党とは密接だが、ある程度の独立性確保（資金、人材等も含む）。
- ・ 社会的に信頼される組織の構築。
- ・ 党ばかりではなく、外部人材や機関との連動
- ・ 小さく生んで、育てていく。



## 党への貢献

---

- ・党の政策機能の強化。
- ・党に貢献できる人材の発掘と育成。
- ・議員、スタッフ、メディア向け政策教育の場提供。
- ・従来は関係が弱かった対象や世代、分野とのネットワークの構築。
- ・メディアとの関係強化。
- ・演説原稿、マニフェスト作成、政策評価等々の支援。
- ・政策情報の提供、政策支援等。



# 計画

---

- ・平成17(2005)年度 初年度  
準備、実験段階
- ・平成18(2006)年度 2年度  
本格化に向けた段階
- ・平成19(2006)年度 3年度  
本格稼働段階

\* 小さく生んで、育てていく。



# 方策

---

- 党組織との相互補完、補強
- 他機関との共同、協力、連携  
国内外のシンクタンク、大学、学会、政府機関、国際機関、NPO/NGO等々との協力。
- 自民党との関係の弱かった対象と緊密化  
例えば、インターネットの活用やインターシップ<sup>o</sup>制度などで若手人材に機会と経験の提供。
- 研究員の受け入れ  
任期制。基本的に官庁からのローテーション出向はなし。個人名での活動成果の発表を推進。
- 政策立案における市場調査（マーケティング）の活用。



# 研究テーマ

---

## ○ 観点

- ・ 中長期的
- ・ 全体的なビジョンと個別政策、その相互関連性
- ・ データに基づく研究(含データ自体の収集)
- ・ 政策適合性、現実性、法的整合性
- ・ 社会の全体システム

## ○ 具体的テーマ

例えば、



## その他の重要事項

---

- 所長(理事長)
- 組織名
- 組織形態